

CT 位置決め画像における CV ポートの視認性向上に関する研究

1. 研究の対象

当院で CV ポート埋め込み術を受けられ、かつ 2023 年 1 月～2028 年 3 月に当院で CT 検査を受けられた方およびこれから受けられる方

2. 研究目的・方法

当院の CV ポート(中心静脈ポート)は、末梢静脈から投与できないような高カロリーの点滴や継続的に抗癌剤などの薬剤を投与するだけでなく、CT 検査において造影剤を高圧注入することも可能なものを採用しています。CT 検査において CV ポートから造影剤を注入する際は、検査時に必ず撮影している位置決め画像を用いて、CV ポート本体に破損がないことや留置カテーテルに屈曲や断裂がないことを確認しています。また、当院で使用している CT 装置は、撮影後に視認性に関わる階調処理や表示条件を自由に選択できる機能を有しています。本研究では、CT 位置決め画像における CV ポートの視認性向上を目的に、CT 位置決め画像の階調処理や表示条件の違いが視認性に与える影響について、画像解析ソフトを用いて後方視的に評価します。

研究予定期間：研究実施許可後 ～ 西暦 2028 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、年齢、性別、CT 画像 等

試料：なし

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

研究責任者

大阪国際がんセンター 放射線診断・IVR 科 榎本 公明

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181